

作成日 2003年09月12日

改訂日 2024年02月15日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	メジテープ タイプ I
製品コード	FU-004
供給者の会社名称、 住所及び電話番号	福田道路株式会社 新潟市中央区川岸町一丁目 53 番地 1 事業本部 技術部 TEL : 025-231-1211
ファクシミリ番号	FAX : 025-231-1212
推奨用途及び使用上の制限	アスファルト舗装の目地シール

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性 :	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	可燃性エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
健康に対する有害性 :	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入: 粉じん及びミスト)	分類できない

	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分 2 (呼吸器系)
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分 1 (呼吸器系、免疫系、 腎臓)
環境に対する有害性	誤えん有害性	分類できない
	水生環境急害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

遺伝疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

呼吸器系の障害のおそれ

長期又は反復曝露による呼吸器系、免疫系、腎臓の障害

(不純物として含有するシリカの情報を記載)

注意書き：安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。

廃棄

廃棄物は、許可を受けた専門業者に委託して処理する。

その他

関係法令、地方条例の定めるところに従う。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 :

ブチルゴム	登録済み
再生ゴム	なし
液状炭化水素樹脂	登録済み
脂肪族系炭化水素樹脂	登録済み
炭酸カルシウム	登録済み

カオリン	登録済み
タルク	登録済み

重量%は企業秘密のため明記できない。

GHS 分類に寄与する不純物または安定化添加物：

結晶性シリカ（タルク、カオリンの不純物として）	(14808-60-7)	10.3%
-------------------------	--------------	-------

4. 応急措置

吸入した場合：	呼吸に関する症状がでた場合、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：	付着した部分を水または微温水と石鹸で良く洗う。
眼に入った場合：	清浄な水で15分以上洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	直ちに吐出し、その後必要に応じて医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状： の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に： 必要な注意事項	特になし
医師に対する特別な注意事項：	特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	強化液、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤。
使ってはならない消火剤：	特になし
火災時の特有の危険有害性：	燃焼時、二酸化炭素、一酸化炭素などを発生する。
特有の消火方法：	初期の場合には、一般火災の消火剤を用いる。 大規模火災の際には泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。消火作業は風上から行う。
消火活動を行う者の特別な： 保護具及び予防処置	燃焼時に発生するガスを吸入する可能性がある場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、： 保護具及び緊急時措置	作業時には保護具の着用が望ましい。
環境に対する注意事項： 封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収し法令に従い処理する。
少量の場合：	ヘラ等を用いて空容器に回収し、その後に完全にウエス等で拭き取る。
多量の場合：	スコップ等で捕集し、適切な処置を行う。
二次災害の防止策：	特別には必要なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
安全取扱注意事項：	加熱物が皮膚に触れると火傷の恐れがある。 作業中は保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件：	火気、火花、高温体との接触をさける。 雨、風、日光にさらされない屋内に常温で保管する。
安全な容器包装材料：	本製品に使用している容器又は包装で保管する。
共通事項：	該当する法令の定めるところに従い、取扱い保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：	通常の使用では必要なし。
保護具	
呼吸用保護具：	必要に応じて適切な呼吸器保護具。
手の保護具：	必要に応じて軍手及びゴム手袋。
眼、顔面の保護具：	必要に応じて保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具：	必要に応じて保護服。

9. 物理的および化学的性質

物理状態：	固体
色：	黒色
臭い：	わずかにゴム臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲：	データなし
可燃性：	可燃性の固体
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界：	データなし
引火点：	350℃以上
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	データなし
粘度：	データなし
溶解度：	水に不溶、溶媒に易溶
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)：	データなし
蒸気圧：	データなし

密度及び/又は相対密度：	1.53 g/cm ³ (20℃)
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他のデータ：	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	特になし
化学的安定性：	通常の手扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性：	特になし
避けるべき条件：	特になし
混触危険物質：	特になし
危険有害な分解生成物：	特になし

11. 有害性情報

急性毒性：	現在のところ有用な知見なし。
皮膚腐食性／刺激性：	長期間あるいは繰り返しの接触により肌荒れを起こす場合がある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	現在のところ有用な知見なし。
呼吸器感作性または皮膚感作性：	現在のところ有用な知見なし。
生殖細胞変異原性：	現在のところ有用な知見なし。
発がん性：	現在のところ有用な知見なし。
生殖毒性：	現在のところ有用な知見なし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	現在のところ有用な知見なし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	現在のところ有用な知見なし。
誤えん有害性：	現在のところ有用な知見なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性：	現在のところ有用な知見なし。
残留性・分解性：	現在のところ有用な知見なし。
生体蓄積性：	現在のところ有用な知見なし。
土壌中の移動性：	現在のところ有用な知見なし。
オゾン層への有害性：	現在のところ有用な知見なし。

13. 廃棄上の注意

廃棄物は、許可を受けた専門業者に委託して処理する。
その他関係法令、地方条例の定めるところに従う。

1 4. 輸送上の注意

容器を転倒させるなどの乱暴な取扱いをしない。

国連分類： 該当しない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法に従う

海上輸送： 船舶安全法に従う。

航空輸送： 航空法に従う。

1 5. 適用法令

消防法：指定可燃物 合成樹脂類 3,000kg

安衛法：名称等を表示・通知すべき有害物 第165-2号 結晶質シリカ

1 6. その他の情報

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも完全な保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意し、個々の取扱い等の実際に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用するようお願いいたします。また、データは新しい知見により改訂されることがあります。